

次世代パワーエレクトロニクス 自己点検結果

#	審査の視点（平均点） 外部専門家のコメント	対応状況	理由
1	<p>研究開発の内容の重要性、妥当性（1.7点）</p> <p>①世界的にイニシアティブを取る意欲は良いが、過去の国プロとの差異が見えにくい。</p> <p>②研究内容も高度の課題に総合的に展開されていて、国際的にも先端を行っている。</p> <p>③”いかにして顧客を獲得するか”も含めた総合的な戦略の策定・実行が求められる。また、デバイス開発だけでなく、実装、モジュール、ソフトウェア、標準化など、システム全体を統合的に開発していく必要がある。</p>	<p>①反映済</p> <p>②反映無</p> <p>③反映済</p>	<p>①PDが研究開発計画立案から、全体を俯瞰してプログラムを進めることなど、SIPのプログラム自身が過去のプロジェクトと異なっている。</p> <p>②改善すべき点の指摘が無かったため。</p> <p>③戦略は、「6.出口戦略」のシナリオ検討で対応する。またシステム全体の統合的な開発は、研究開発項目Ⅲが回路、モジュールの研究であり、システムの視点で検討をする予定である。</p>
2	<p>実用化・事業化への戦略性（0.8点）</p> <p>①出口戦略の記載が少なく、イノベーションに至るまでのストーリーが見えない。提案が技術主体で、コスト低減のための施策の記述がない。</p> <p>②技術の構築、人材育成を目標として掲げており、さらに事業としての展開ステップも示されていて良いが、現在のSiとの競争を勝っていく戦略の詰めが欲しい。</p> <p>③グローバル市場での競争力を維持・向上するための道筋が必要である。またグローバルに展開するためには、システム、サービスに精通した人を含めるべきである。</p>	<p>①反映済</p> <p>②検討中</p> <p>③反映済</p>	<p>①ストーリーに関しては、「6.出口戦略」のシナリオ検討で対応する。またコストは「1.意義・目標等」にコストの低減に関する記述と、図表1-2にコスト低減のイメージ図を挿入した。</p> <p>②Siとの性能・コスト比較は前提としているが、競争として勝つ戦略は、プログラムの進捗、「6.出口戦略」のシナリオ検討で継続的に検討を進める。</p> <p>③道筋は、シナリオ検討で対応する。またシステム・サービスに精通した人に関しては、公募の際に考慮する。</p>
3	<p>組織間連携（産産、産学、府省）の有効性（1点）</p> <p>①人材育成にも視点が置かれている点は良いが、事業を運営できるジェネラリスト・プロモーターも育成する必要があると考える。</p> <p>②経産省との連携は適切である。応用対象として道路輸送/鉄道/船舶なども大きく、プログラムの後半には、国土交通省との連携も国際展開の視点から重要ではないかと考える。</p> <p>③過去のプロジェクトの成果に関して、レビュー・評価され、関連づけられているか不明である。</p>	<p>①反映無</p> <p>②反映無</p> <p>③反映済</p>	<p>①「6.出口戦略」のシナリオ検討で、事業面の戦略が明確になり、方向性が見えた段階で検討したいと考えている。</p> <p>②プログラム後半において検討する。</p> <p>③過去のプロジェクトの成果を考慮し、計画を立案している。また「1.意義・目標等」に過去のプロジェクトに関する記載を追加した。</p>
4	<p>その他特記事項</p> <p>①国家戦略のため、CloseとOpenにすべき点を十分考慮すべきである。あえて本来の姿・目標でない部分を意図的にOpenにすることも必要かもしれない。</p> <p>②研究開発項目Ⅲが今後の展開に大きな役割が期待される。そのため応用分野を指定して細分化せず競争力のある分野を精細に検討するフェーズが必要だと思う。</p> <p>③社会インフラ市場は、国家プロジェクトとして集中的に取り組む必要がある。新たな発想として、例えば信頼性を下げてコストを徹底的に安くした上で、定期点検・交換において事業化する手法などを取り入れても良いと考える。</p>	<p>①反映済</p> <p>②検討中</p> <p>③反映済</p>	<p>①達成目標の具体的な数値や、戦略の公表などに関しては、公開内容、方法を検討する。</p> <p>②公募や実施計画策定の際に、御指摘された点を意識し、対応を検討したいと考えている。</p> <p>③「6.出口戦略」にシナリオ検討において、新たな使い方、仕組みに関して検討する予定である。</p>

※点数は以下を基準にしています。

0点:改善が必要なもの

1点:妥当であるもの

2点:優れているもの